



コロナ禍での生活支援体制整備事業について



福岡県 うきは市

うきは市役所 保健課

うきは市 第1層地域支え合い推進員

うきは市の現状



平成17年 3 月に旧浮羽町と旧吉井町が合併し誕生。

人 口：28,724人

高 齢 率：34.9% (10,037人)

後期高齢率：17.9% (5,153人)

年 少 率：12.1% (3,481人)

※令和3年4月1日現在



うきは市のゆるキャラ
『うきぴー』

【うきは市内の地域の考え方】

地区：11 (旧小学校区)

地区ごとに、まちづくり組織としてそれまでの
地区公民館（旧小学校区単位に設置）を継承・発展する形で、**地区自治協議会**が平成26年に誕生。

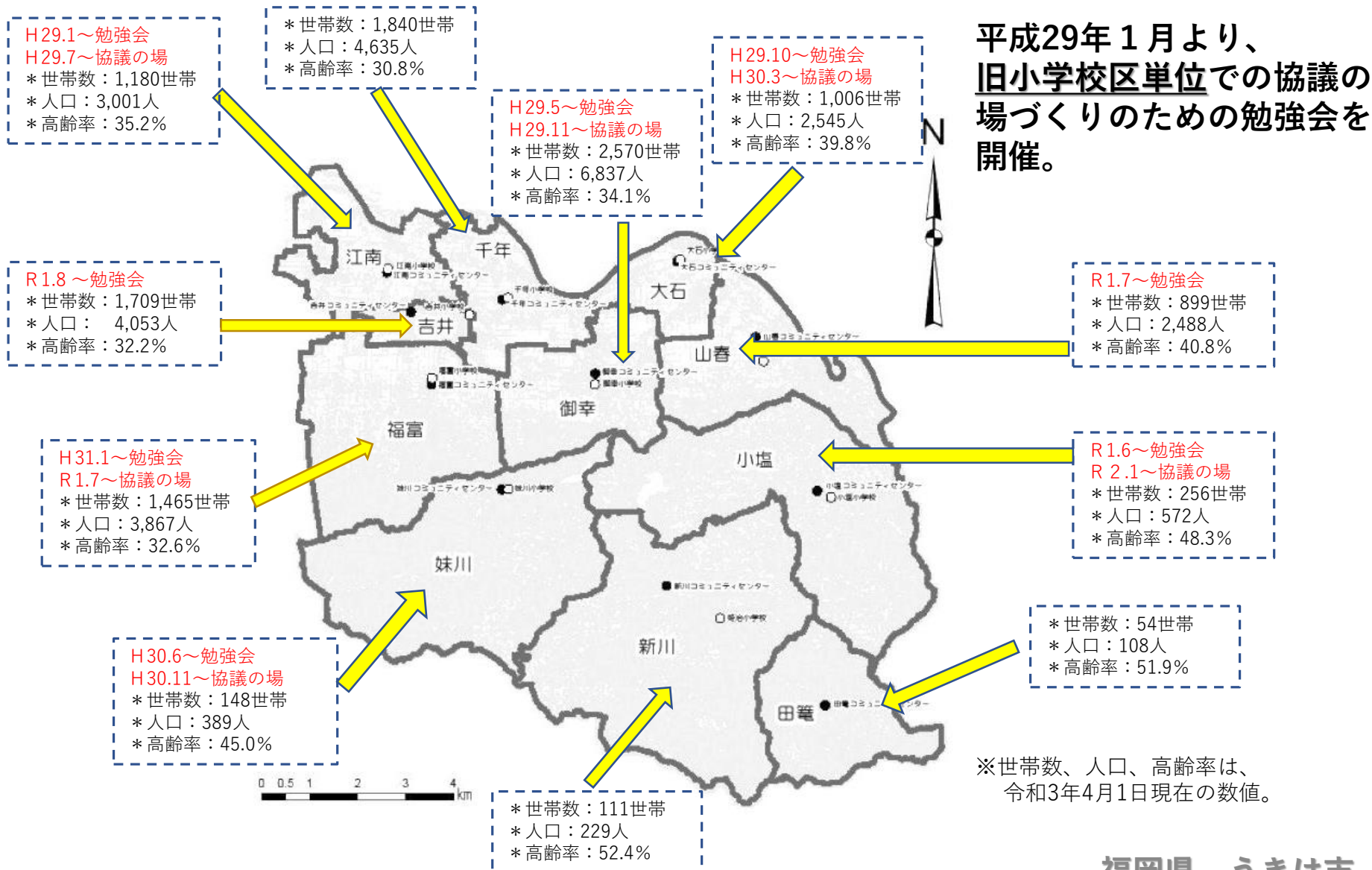
行政区：158

地区を構成する地域・自治組織
いわゆる「**集落や自治会**」と呼ばれるエリア

うきは市は福岡県の南東部に位置し、北は朝倉市、西は久留米市、南は八女市、東は大分県日田市と接しています。

面積は117.55km²で、約75%が、耕地、山林といった自然豊かな地域です。また、四季折々のフルーツが実るフルーツ王国でもあります。

うきは市の現状



生活支援体制整備事業の取り組みについて

平成27年

うきは市より、うきは市社協が第1層地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）業務を受託。（1名体制）

平成27年12月

市・さわやか福祉財団・社協の3者包括連携協定を締結。

「支えあいのまちづくりフォーラムinうきは」開催。

※全国的にいわれている『協議体』を、うきは市では、話し合いの場として『協議の場』と呼んでいます。

平成28年

第1層地域支え合い推進員 2名体制となる。

平成28年12月～

旧小学校区ごとに第2層協議の場（協議体）の設置に向けた勉強会をスタート！

※現在、7つの地区で第2層協議の場へ移行。

平成30年1月

「第2回支えあいのまちづくりフォーラムinうきは」を開催。

平成30年3月

第1回「第1層協議の場」を開催

『PP（A）K（ピンピンコロリ）のために、地域で何ができるのか？』…がテーマに！



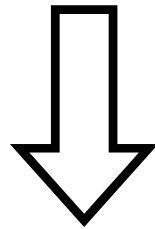
コロナ禍以前の取り組み等について
は参考資料にてご確認ください。

うきは市の コロナ禍の生活支援体制整備事業は・・・。

固い言い方になりますが・・・。

①今できる活動の継続・別の方法の模索
現状でも使える・利用できる活動・資源の紹介

②企業と連携した、コロナ禍でも止まらない
取り組みの創出



今後の目指すところ
庁内連携して進めるシステム作り

令和2年 新型コロナウイルスによる活動等への影響

※令和2年2月下旬以降、予定されていた第1層および第2層協議の場は全て中止。その後も基本的には緊急事態宣言下では、各種活動や打ち合わせ等は原則中止ということで進んできている。

※居場所活動についても令和2年3月より中止。活動再開に向けた環境調整等の資料等を市役所・社協連名にて6月に配布し、準備ができた地域から順次再開しているものの、緊急事態宣言では活動の自粛をお願いしている。また、感染予防等の観点から、いまだ再開していない地域も多い。

※地域での移動支援については、令和2年4月の緊急事態宣言により、一時活動中止したが、その後は感染予防策をとった上で、活動を行っている。

※地域での生活支援ボランティアについては、緊急事態宣言期間中が室内活動のみ活動中止。それ以外の期間については感染予防策をとった上で、活動を行っている。

新型コロナウイルスが身近にある中でも・・・。



もともとの地域と新興住宅地とが交じり合った福富地区。地域の話し合いの中で、「見守り」をテーマにした活動を進めていく中で、**「見守るためには、お互いが出会って知る必要がある！」**と子どもも高齢者も外に出る機会（見守られ活動）のきっかけとして、地域のみんなでベンチ作り・設置場所の検討を行うことに・・・。

そのような中で新型コロナウイルスの影響があったものの、ベンチの試作品づくりや、試験イベントとして、学童保育所の子ども達とベンチ作りを行う。

今後は、各行政区でのベンチ作り・設置を進めていくとともに、移動販売車やコミュニティバスの停車場所とベンチのマッチングを行っていく予定。



新型コロナウイルスが身近にある中でも・・・。

「地域住民による移動手段に関するアンケート調査の実施」 (小塩地区)

山間部で少子高齢化が進む小塩地区。

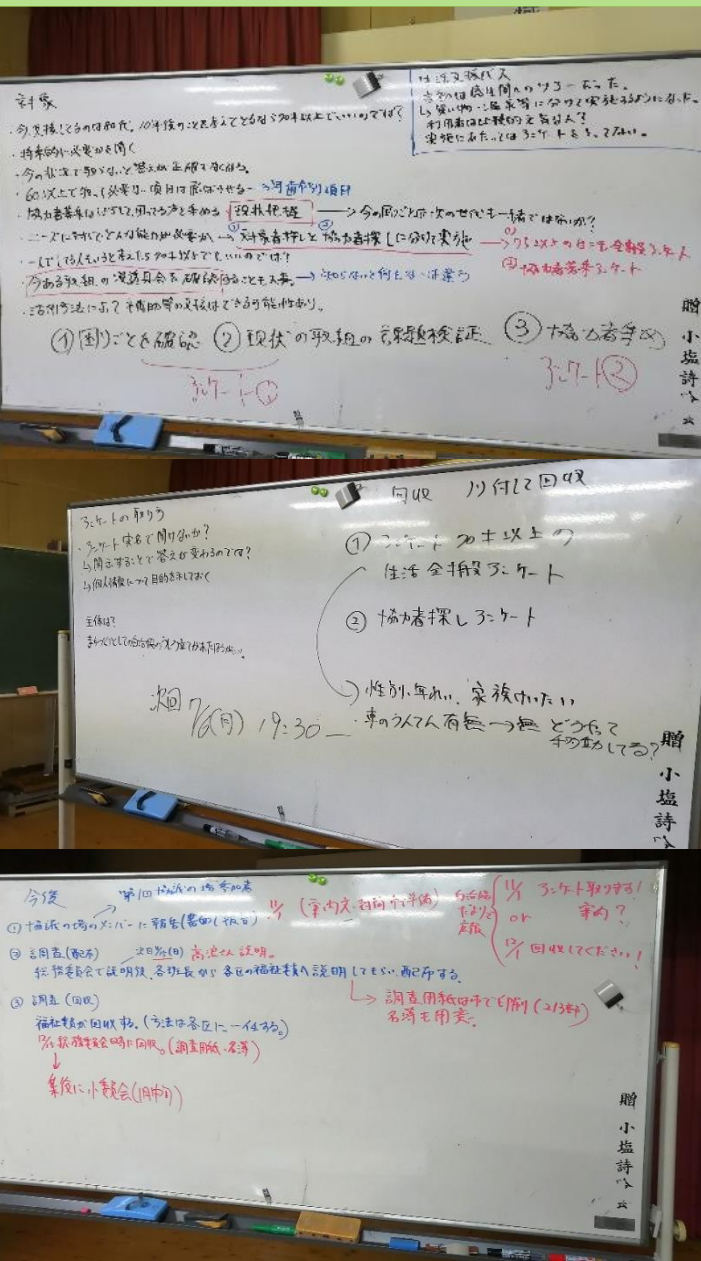
地域の話し合いの中で、高齢者等の移動手段をどう確保するかということをテーマに、地域住民によるアンケート調査を実施。アンケートの内容や調査方法等について小委員会を立ち上げ、協議する。

令和2年2月より小委員会を開催したが、新型コロナウイルスの影響等で度重なる延期・中断。

感染状況の合間をぬって協議を重ね、昨年、11月～12月にかけてアンケート調査を実施。集計すると、意外にも子ども家族と同居している世帯が多いことが分かるが、地域での移動支援や居場所づくりについて、継続協議を行っている。

度重なる中断でもおじちゃんは・・・。

「自分達で決めたことけん最後までするばい！」と言



(ボツ企画①) 新型コロナウイルスの影響による買い物困難者への 買い物支援について

地域での移動支援が中止となり、移動支援を利用して買い物行っていた方の中には買い物に困る方が出ているという話から、移動支援を実施している地域の関係者と市内のスーパーマーケットと協議を重ね、右図のような買い物支援を企画。

地域住民へアンケートを実施するも緊急事態宣言解除目前ということもあり、利用希望者なしという結果に・・・。

地域の声から動き出し、1か月ほどで調整を行うも、実施には至らず、ボツになった。

しかし、このことがきっかけで、**地域の助け合いだけではなく、企業等との連携や協働した取り組みを作っていく必要性がある**ということを強く感じた。



①注文

個人が注文票に記入し、玄関に置いておく。
地域の協力者が個人宅に回収に行き、お店へ。
※前日夕方までに **f a x**
翌日午後2時以降に受け渡し。

※注文票について
おおまかな商品の記入欄＋自由記述
(その他の商品やメーカー指定など)



②商品準備

注文内容を個人ごとにまとめる(お店)



③商品の受け取り

協力者がお店に商品を取りに行く。
受け渡し：1階通用口



④商品を届ける

協力者が個人宅へ接触を避けるために、玄関へ置いたうえで、呼び鈴等で知らせる。

（ボツ企画②） 企業同士の連携による買い物支援について

全国展開されている大手の運送会社さんより、地域貢献として地域課題解決に向けた取り組みを自治体と協働してやりたいとの申し出がある。

企業より相談があったのは**商工振興の部署**であったが、**本事業の所管課である保健課に情報提供と会議への同席を提案**してくれ、コロナ禍の課題、コロナ禍以前の課題を踏まえ、何ができるのかを検討。前スライドでお示したボツ企画をアレンジし、スーパー×運送会社×コミュニティバスで実施することで話しを進めるも！・・・あと一歩のところまで実現に至らなかった。

後日談だが今回企画した方法を10年前にすでに実施していたことや、その時の業務の煩雑さ等から中止したことも分かった。

①お店にて買い物（本人）



本人が店舗にて買い物→商品代金・配送料の支払い
配達してほしい商品を配送カウンター（仮）へ

②梱包（店舗）



預かった商品を梱包。（折り畳み式ボックスを使用し、冷蔵品はクールバックと保冷剤にて梱包）

③集荷・配送（運送会社→本人）



運送会社が店舗を訪問し、集荷。センターへ持ち帰った上で配送エリアごとに振り分け、配送。

令和2年度の転機

～人口3万弱の市に移動販売車が3社も～



これまで1社しかなかった移動販売。販売ルートも限られていた。

しかし、**昨年6月にはセブンイレブンさんが10月にはとくし丸さんが移動販売を始める**ということに……。定期的に集まる居場所活動については、市の担当者、地域のお世話人、企業の方などと調整し、活動終了時刻ごろに移動販売車が来るように調整を行った。



移動販売が3社になり、それぞれ販売エリアが違うため、お互いを補完し合うことができれば、市内全部の地域に移動販売車が停車するという状況をつくることが可能になった。

地域の共通課題としてある「移動手段」のうち、移動手段を使う目的地上位の「買い物」を支える社会資源が整ったものの、買い物を手伝ってほしいという声をつなげていくためには地域の協力が必要。そのことから、第1層協議の場では「移動販売」をテーマとした。

市内を走る移動販売車について



サンピットバリュー 移動販売車「ウキウキ号」平成26年2月～

- ・旧浮羽町域をエリアとしている（毎週月・火・木・金・土）
- ・店内の商品を載せている（生鮮品・惣菜・お菓子・日用品等）
- ・公民館・個人宅など停車場所は様々
- ・一部停車箇所が居場所になっている
- ・商品価格は店頭価格からプラス10円～100円ほど上乗せしている

※うきは市初の移動販売車！メディア取材多数。カンブリア宮殿にも出演。
移動販売をはじめ、様々な先駆的取り組みを行う地元スーパー



セブンイレブン 移動販売車「あんしんお届け便」令和2年6月～

- ・市内全域をエリアとしている（毎週月・水・木・金）
- ・店内の商品を載せている（生鮮食品は注文時のみ販売）
- ・現金の他、nanacoカードでの支払いができる
- ・移動販売の他、個人宅への配達を行っている

※「他の移動販売車を補完する形で移動販売を行いたい。」

ウキウキ号のまわっているエリアのうち、「もう一回来てほしい」との依頼のあった地区を、調整の上まわっている。



移動スーパー「とくし丸」令和2年10月～

※協力店舗：A コープ吉井店

- ・旧吉井町域をエリアとしている（毎週月～金）
- ・協力店舗の商品を載せている（生鮮品・惣菜・お菓子・日用品等）
- ・個人宅の玄関先まで訪問しての販売が特徴
- ・商品価格+10円（1品につき）

※運転手の方は永年ヘルパーとして介護現場に従事。

「平地でも困っている方がたくさんいるので、一人でも多く届けたい。」

うきは市の移動販売の状況



サンピットバリュー

主な範囲: 旧浮羽町域

※江南地区については、
新治団地区のみ

※千年地区については、
長野・福久・御敷町区のみ



セブンイレブン

主な範囲: 旧浮羽町域

※福富地区については
福富コミュニティセンターのみ



とくし丸

主な範囲: 旧吉井町域



各移動販売車の曜日別状況

曜日	サンピットバリュー	セブンイレブン	とくし丸
月曜日	小塩・妹川地区	山春・大石地区	週2利用者宅
火曜日	新川・田籠地区 江南地区(一部)	お休み ※希望があれば稼働可能	週2利用者宅
水曜日	お休み	福富地区(一部)	週1利用者宅
木曜日	山春地区	新川・田籠・小塩地区 福富地区(一部)	週2利用者宅
金曜日	大石地区	妹川地区	週2利用者宅
土曜日	御幸・千年地区(一部)	お休み	お休み
日曜日	お休み	お休み	お休み

うきは市 第1層協議の場



第7回（R 2.11）：「買い物を支える移動販売について」

内容

・移動販売を実施する企業からの報告

移動販売時に利用者の体の不調に気づき、救急車を呼んだという事例
移動販売の停車場所が買い物後のおしゃべり等の居場所活動にもつながっている
買い物という行為自体が介護予防・認知症予防・見守り・食育にもつながっている
などのお話もありました。

・地域と企業が連携して移動販売がはじまった他自治体の事例について



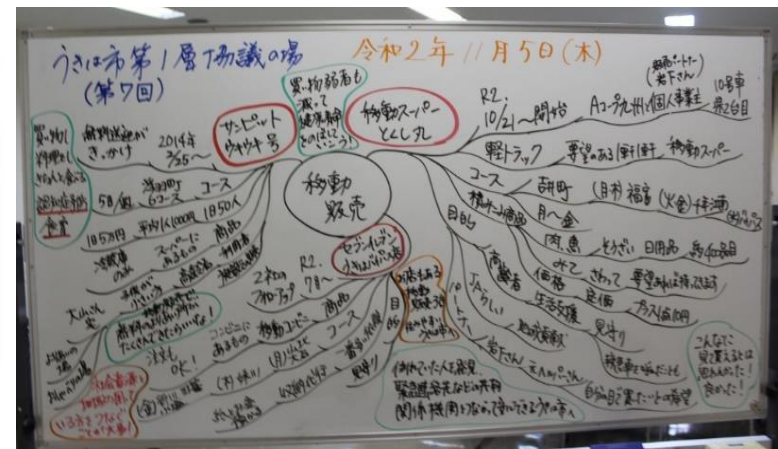
サンピットバリュー



セブンイレブン
うきはバイパス店



移動スーパー
とくし丸



※平成26年より移動販売を行っているサンピットバリュー（主に浮羽町域を範囲）、今年6月より開始したセブンイレブンうきはバイパス店（市内全域を範囲）、今年10月より開始したとくし丸（主に吉井町域を範囲）の3社。この3社の移動販売により、市内全ての地域にいずれかの移動販売が停車するという状況をつくるのが可能となった。

第1層協議の場までの間のお話

移動販売をさらに広げるための動きに向けて・・・。



第1層協議の場に向け、各企業を訪問し内容を説明した際には、内容についてご理解いただき、快くお引き受けいただいたが・・・。



「買い物支援として市の担当課や社協から評価してもらってるのは分かるけど、市全体の考えとして移動販売をどう考えているの？」



「大雨や台風の際に移動販売に行けないときに防災無線で放送できないの？『今日は〇〇スーパーは臨時休業です。』ってテレビのテロップでも流せるでしょ？利用する人が困らないような支援を市のほうでお願いできないかな？」



「自分たちは他の移動販売のサポート役として移動販売を進めていきたい。そのためには定期的な情報共有の場が欲しい。」

「移動販売車の停車場所の許可を誰にとっていいか分からない。地域とつながりたい。」

「今の停車場所にベンチが置けたら居場所になるような場所がたくさんある。そういった情報を地域の方と共有したい。」

第1層協議の間までの間のお話

移動販売をさらに広げるための動きに向けて・・・。



たくさんの宿題をいただいたが、どうしよう・・・。

少しだけ重たい気持ちで事務所に戻りました。

「たくさん宿題もらったけど、一人じゃ答えができないな・・・。」

その日は寝つきが悪かったのを覚えています。



・・・翌日は市の担当者と商工関係部署との打ち合わせ・・・

打ち合わせの際に宿題の内容を報告すると、商工関係部署の方より・・・。

「防災無線の活用はできると思うよ！市の公式LINEもあるからそこでもPRできるんじゃないかな？あとは広報紙に載せるのもいいよね！

3社の情報共有の場も市でセッティングできるんじゃない？

でも他社から「なんであそこだけ？」って言われる可能性はあるから、根拠は必要だと思う！例えば・・・協定とか！」



ええ～！！！！



第1層協議の場のため移動販売を実施する3社へ 訪問した際の一言から・・・。

「買い物支援として市の担当課や社協から評価してもらってるのは分かるけど、市全体の考えとして移動販売をどう考えているの？」

「大雨や台風のため移動販売に行けないときに防災無線で放送できないの？利用する人が困らないような支援を市のほうでお願いできないかな？」

「自分たちは他の移動販売のサポート役として移動販売を進めていきたい。そのためには定期的な情報共有の場が欲しい。」

「今の停車場所にベンチが置けたら居場所になるような場所がたくさんある。そういった情報を地域の方と共有したい。」

いただいた意見を市の担当課等と共有し、再度3社を訪問。結果としてうきは市と移動販売を行う企業3社が包括連携協定を締結しました。協定をきっかけに、3社の情報共有の場や、気になる利用者等の情報提供（見守り）および緊急時の連絡先の整備、ケアマネ等専門職への情報提供や連携などを進めています。



移動販売 3 事業者とうきは市の定例会議



協定締結後は、移動販売の3事業者と市の担当者との定例会議を実施。その中では移動販売の推進・広報等について協議しています。

今年度は緊急連絡先の整備や気になる利用者の情報提供と併せて、地域の買い物に困っている方と移動販売とをつなぐため、移動販売のPR動画・市ホームページへの記事の掲載、民生委員・ケアマネジャーの定例会の際の各事業者からの説明などを計画しています。

会議の中では、福祉的視点だけではなく、事業継続等の商工振興の視点からの意見もあり、会議のたびに新たな学びや気づきもあります。

進めていることは革新的なものではないかもしれませんが、協定を結んだから出来るようになったことはたくさんあると思っています。

参加者 移動販売事業者3社 うきはブランド推進課（商工振興係）
保健課（介護保険関係 ※所管課） 第1層SC

福岡県 うきは市

移動販売をさらに広げるための動きに向けて・・・。

協定の効果？こんなことが出来ました。



①1月の降雪の際、市内全域で積雪があったため、移動販売は実施が難しい状況になりましたが、防災無線を活用して、移動販売のお休みのお知らせができました。

②移動販売のドライバーさんの家族が体調不良のため、急遽移動販売が実施できなくなりました。その際も防災無線を活用し、お休みのお知らせを行うとともに、一部の地域については、市役所が別の移動販売事業者と調整を行いました。

③地域の自治協議会や第2層地域支え合い推進員が取材され、広報等に移動販売のことを紹介してくれたり、移動販売車の停車場所にベンチをマッチングしてくれました。



生活に大切な社会資源
～みなさんで利用しよう!!移動販売車～

新型コロナウイルスの感染リスクから買い物を控えるという方もいらっしゃるかと思います。しかし、必要に応じて「あれがない!」という経験をしたことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

でも安心!山崎地区にはサンピットバリュー、セブンイレブンうきは/バイス店の2つが移動販売を行っています。公民館等に停車していますが、必要に応じて自宅前まで来てくれることも・・・。高齢化が進んでいる山崎地区ですが身近な場所で買い物ができるなら・・・の免許を返納しても安心!※移動販売のルート等詳細については、次号でお伝えします。

サンピットバリュー ウキハ支店
7月より利用可能の上げられているのは、市内の移動販売車。生鮮食品から惣菜まで、生活必需品が揃っています。買い物をした後は、皆さんで回収がスムーズです。週1回のより良い場になっています。

セブンイレブン あんしんお届け便
昨年6月から始まった移動販売。セブンイレブンの店舗で売っている商品はほとんど揃っていて、もちろんロックなどのホットスナックも揃っています。移動販売は、皆さんの声でどんどん充実しています。

写真提供:うきは市第一産業文化推進員(うきは市社会福祉協議会)

☆献血の協力ありがとうございました☆

1月4日(月)山崎コミュニティセンターにて、10時から15時まで街頭献血を実施しました。寒い中、区外からの参加者もあり、今年は48名の皆様にご協力いただきました。ありがとうございます。あなたの献血が誰かの命を救います。今後ともご協力をお願いします。

山崎会場 献血参加者数推移

会場	H27	H28	H29	H30	R1	R2
山崎会場	88	78	97	72	94	18

令和3年2月15日

至誠館だより
第45号 江南地区自治協議会 会/FAX共 75-4389

緊急事態宣言 福岡県も1ヶ月(～3月7日)の延長に
延長に伴い、宣言期間中の交通規制の利用も生じられようとなります。利用にあたっては、「三密禁止」「マスク着用」「手洗い」の手順のアルコール消毒の徹底をお願いします。

福岡コロナ警報 発動中

福岡コロナ警報とは「陽性者数」「感染経路不明者の割合」「病床稼働率」「重症者病床稼働率」の4つの指標を県独自に設定し感染拡大の防止を図るものです。県はこの指標を基に総合判断を行い、医療機関に対し病床や医療体制の整備要請、事業者に対しては、外出自粛や休業要請措置の発出を行います。

2月6日時点では、**病床稼働率74.1%**(526床/710床)と、**重症者病床稼働率34.5%**(38床/110床)の2項目が警報基準に達しており、県は医療機関に対し受け入れ病床の準備と拡張の要請を行いました。又、民間の宿泊療養施設については現在1387室を確保しています。

移動スーパー『とくしれ』 頑張ってます!とくしれは高齢者や買い物に不便な人々を応援する全国ネットの移動スーパーです。吉井町は吉井さんがAコープ吉井店と提携し、町内を巡回しています。

とくしれが動き出す3か月となります。様子は如何でしょう。

今は月、水、金曜、土曜、日、火、水、金は主に吉井・千早を回っています。お年寄りの方から「待っちゃったよ」「週に1回の楽しみ〜」と買われ喜んでもらえるのが励みになります。利用者さん目の前で買い物を出来てとってもうれしです。1軒のお宅の前にご近所の方が集まってくるような雰囲気でお買い物をしています。米、味噌、油といった重たいものにも重宝。売れ筋は生鮮品。なかでもお肉は買われます。お肉が必用のかしら、それも農産物の交流が多かったですね。お肉の買い置き、お年寄りの皆さんの交流の場になれています。まだまだ走り出せばいいです。今後とも宜しくお願いいたします。

とくしれのお問い合わせは 75-24888(Aコープ) 又は 携帯番号(080-1774-2186)までお気軽にご連絡下さい。

吉井さん

昨年度からのつながりがこんなことにもつながっています。

コロナ禍の中で、地域の居場所活動の中止や遠方の家族の帰省が出来ない中、高齢者等の孤立解消に向けスマホ教室を企画していることを情報共有したところ、携帯キャリアショップ等を運営している地元企業より、「**地域貢献したい**」とのお話があっていることと、会議への同席を提案していただき、高齢者のスマホ教室等を実施する準備を進めています。

また、この件に関しては、高齢者や介護予防分野のみならず、情報格差解消によるその先の展開も見据え、商工振興に限らず、防災や地域活動、生涯学習等の担当部署等にも協働に向けた働きかけを行っています。



スマホ教室・デジタル化推進のための連携会議

参加者

市長公室 総務課 市民生活課 市民協働推進課（防災・コミュニティ）
生涯学習課（社会教育） うきはブランド推進課（商工振興）
保健課 第1層SC

福岡県 うきは市

ご清聴ありがとうございました。

参考資料

勉強会を経て、「協議の場」へ移行しています

協議の場

★地区の現状や課題について整理した中で見えてきた、地区で今後話したいテーマについて絞り、より具体的な仕組みや取り組みにつなげるために、話し合いをすすめる



協議の場づくりのための勉強会の開催

【目的】

- ◆地域包括ケアシステムについての理解
- ◆地域の実情について、参加者全員で考え・話し合う土台をつくる
- ◆地域の課題や必要なモノ・コトについて、共通認識をもつ

旧小学校区単位で、協議の場づくりのための勉強会から協議の場へ

勉強会の目的

- ◆地域包括ケアシステムについての理解
- ◆地域の実情について、参加者全員で考え・話し合う土台をつくる
- ◆地域の課題や必要なモノ・コトについて、共通認識をもつ

◆講話

- ・うきは市の介護保険をとりまく状況や地区の現状
- ・地域包括ケアシステムについて、介護予防について
- ・支え合うってどんなこと？など

たくさんの
アイデアが聞
けて良かった！

地域の方（他の
区の方）と交流
を持てて良かった。



毎回、テーマを変えてグループワークを取り入れています



協議の場ではこんなことを話し合います・・・

例) スーパーが近くにないので、近くまで売りに来てもらえと助かる。
→ 移動販売車に来てもらう

企業の取り組み



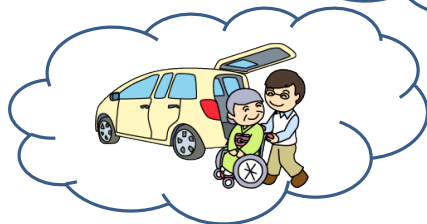
例) 公共交通機関がないので整備すれば生活がもっと便利になるのでは...
→ 行政への政策提案

行政の取り組み



例) 自治会館や施設の空き部屋を高齢者の集まる場や子育てサロンに活用できないかな！？
→ 高齢者のつどいの場や子育てサロン

地区(校区)、行政区、施設の取り組み



例) 施設の車が借りられれば移動のお手伝い出来るかもしれない。

住民+施設の取り組み



例) 自分のゴミ出しのついでにお隣のおばあちゃんの分もゴミ出しをしておこう！！
→ ゴミ出し代行

隣近所(行政区)の取り組み

『協議の場』＝うきは市に住む方だけではなく、『うきは市に関わる方で地域のことを考え、話し合っていく場』

具体的には、

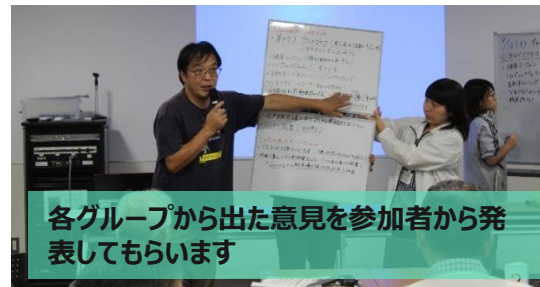
- ① 「地域の今ある取り組みとこれから必要な取り組みについて話し合う場」
- ② 「地域の方だけでなく、施設や企業などと協働して地域の課題について知恵を出し合う場」
- ③ 「地域や企業だけでは解決できない部分を、行政に働きかける・声をあげる場」

協議体（協議の場）までの流れ（準備編）

- 協議体については、協議体づくりの勉強会の段階から、事前打ち合わせを市と地域支援合い推進員で重ね、住民と一緒に説明をしています。
- 勉強会や協議体では、毎回グループワークを取り入れており、各グループには、市（保健課）、社協地域係等がそれぞれ入ってグループワークを進め、実際の地域の生の声を聞く場を設けています。勉強会や協議体の最後には、各グループから出た意見を発表してもらい、地域支援合い推進員でホワイトボードに見える化していき、参加者みんなで振り返りを行っています。
- 毎回、地域支援合い推進員が前回の振り返りの資料を作成し、アンケートとともに振り返りの会議を保健課と持ち、次回の協議体をどのような内容とするのか、グループワークのテーマをどうするのかなどを一緒に考えています。



市の担当者と推進員で打ち合わせ
電話・メールは毎日しています！



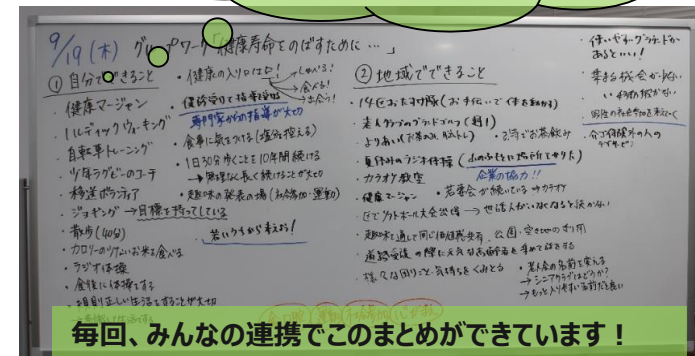
各グループから出た意見を参加者から発表してもらいます



グループに、市職員や社協職員が入り、グループワークを進め、実際の「地域の生の声」を聞き、小さいホワイトボードにまとめます！



地域支援合い推進員のまとめ
字が汚いのが中川、まあまあの
のが池崎です(^^)



毎回、みんなの連携でこのまとめができています！

地域支援合い推進
員がまとめ、参加者
みんなで振り返りま
す(^^)



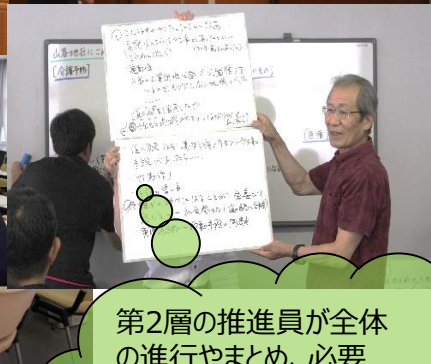
協議体（協議の場）までの流れ（当日編）

それぞれの持ち味を生かしながら、連携して進めています。

介護予防の説明は…
市の健康運動指導士さん

介護予防のうき8体
操も皆さんでやって
ます！

市の公共交通のことは…
市の企画調整係（担当
部署）よりお話をもらい
ます。



第2層推進員との打ち合わせや会議の様子

グループワークはおまかせ！
社協地域系の職員です！

第2層の推進員が全体の
進行やまとめ、必要
な説明などは市や第1
層推進員が行うなど、
協働して進めています。

地域のことは地域の皆さんから

協議の場での事例報告

地域の高齢者サロン
地域の高齢者が営む野菜ショップ
区の青年部の活動
コンビニのミールサービス
スーパーの無料送迎
移動販売
ボランティアグループ
子ども会の寺子屋
社会福祉法人の地域貢献
美容室の送迎・出張

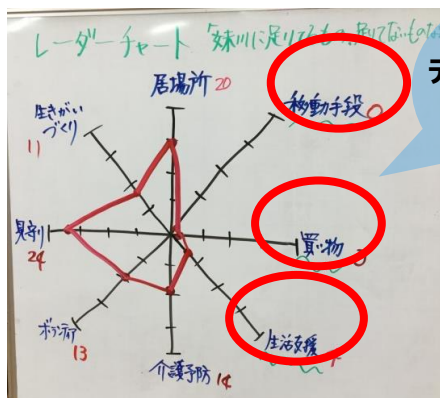
などなど

地域包括ケア・介護予防・生活支援を説明するのはむずかしい！

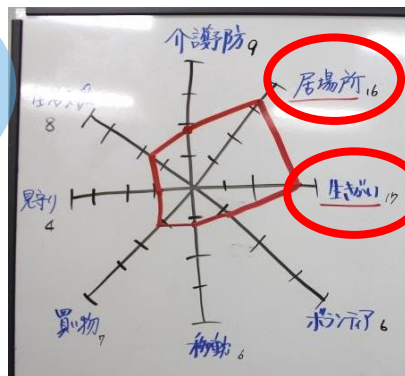
でも、地域にはいろんな取り組みがあって、「この取り組みは、〇〇につながりますよね」っていうものがたくさんある。目指す地域像はこちらが提示するものではなく、地域の中に眠っている。それを伝えることも大切。

これから地域で考えていきたいテーマを、自分達で決める！

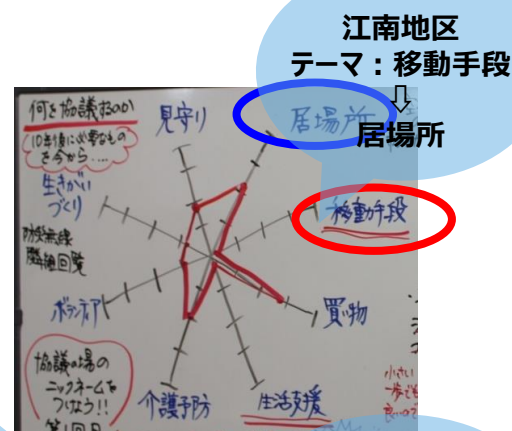
★勉強会の最終回では、これまでの「ふりかえり」と「まとめ」を行い、勉強会から協議の場へ移行することを確認。そして、レーダーチャートを活用して、今後の協議の場でのテーマを決めていきます。みなさんで共通のテーマを決めることで、より一体感をもって協議の場で話し合うことができていると感じています。



妹川地区
テーマ：移動支援
買い物
生活支援



大石地区
テーマ：居場所、
生きがいづくり



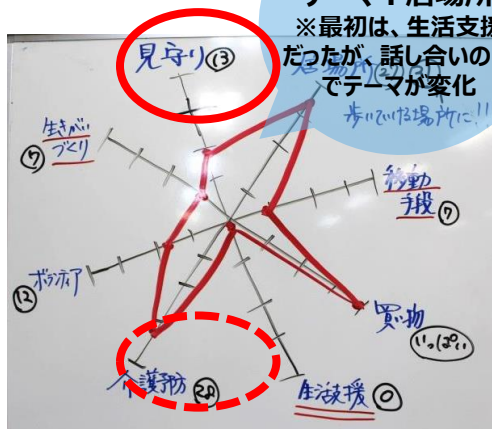
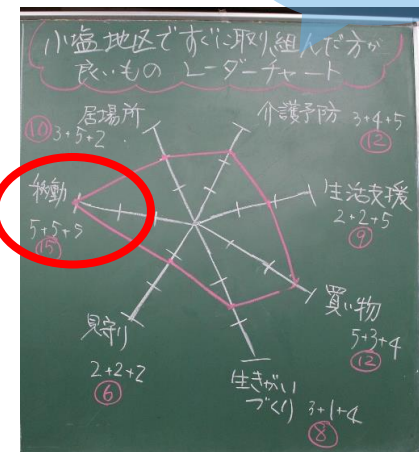
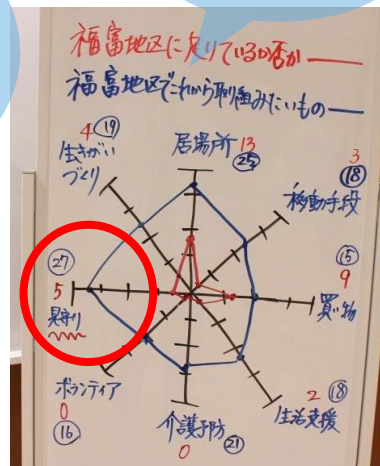
江南地区
テーマ：移動手段
居場所

福富地区
テーマ：見守り

小塩地区
テーマ：移動手段

山春地区
テーマ：移動・生活支援

御幸地区
テーマ：居場所
※最初は、生活支援
だったが、話し合いの中
でテーマが変化
考へて居場所にした



より地域に根付いた活動を推進するために・・・

平成30年度より、随時、各地区の第2層地域支え合い推進員（住民の方）を中心に、協議の場や活動の推進が行われています

みゆき28
～ めんは丹良く めいのこころで めすなを深める 御幸 ～



御幸地区地域支え合い推進員さん

かたらんねー 江南



江南地区地域支え合い推進員さん

妹川地区



妹川地区地域支え合い推進員さん

福富地区



福富地区地域支え合い推進員さん

山春地区



山春地区地域支え合い推進員さん

第2層地域支え合い推進員さんからの声

- ・ 御幸地区に住んでよかったと思える地域になるよう、協議の場を進めていきましょう！
- ・ 「お互い様」の気持ちを大切にしたい助け合い活動を。
- ・ 誰しも、健康で楽しく人生を過ごしたいと願っている。
コミュニケーションを取りながら、心身ともに、元気でいられるような地域を！
- ・ 今のカタチも大切にしながら、地域に合った仕組みづくりが大切。

第2層の推進員さんは・・・



- ◆ 介護予防・生活支援サービスの提供状況の把握および創出
- ◆ 関係者間のネットワークの構築
 - 協議の場のお世話役（進行・テーマ決め等）
 - 小委員会の開催
 - 地域の居場所活動の推進
- ◆ 支援ニーズの把握
 - 高齢者見守り表やアンケートによる聞き取り
 - 地域での集まりにて、説明会の実施
 - 対象者宅への訪問 試行実施

江南地区の様子

平成29年1月～勉強会
平成29年7月～協議の場

社会福祉法人の社会貢献

- ①退院時の福祉移送サービス
- ②おじいちゃん・おばあちゃんのデートのお手伝い

退院時の福祉移送サービス

Let's Join us

音ながらのつながりを。

ご相談・ご予約（9時～17時）
0943-76-5366

特別養護老人ホーム水月南井
施設：久保山・河角

「みんなの孤食をなくしたい！」
地域食堂「かたらんね食堂」の開催



地域の移動手段の確保
通院・趣味の場等への移送サービス（R1.6～）



「若返り健康教室」の開催
（平成29年4月～）
「地域での介護予防の取り組みも必要！」

アンケート実施
福祉委員等の協力

健康福祉部

有志と女性部

社会福祉法人

地域に関わる皆さんの
「こんな事が必要！」と「これだったら出来そう」

かたらんねー江南の中ではこんなことが・・・

「うちの区はゴミ捨て場が遠いのよ。」
↑
「うちの区はゴミ捨て場が2つあるよ！」



後日・・・
「この前聞いた話でゴミ捨て場を新たに増やすことが出来た！！」という声

他にもよりあいのことなど、意見・情報交換によって、それぞれの地域（行政区等）が変化しています。

江南地区協議の場

かたらんねー江南

自治協議会

区長

住民

介護事業所

地域支え合い
推進員

民生委員

分館長

福祉委員

社会福祉法人

タクシー会社

社協

市役所



軽自動車を活用した地域での移送サービス

・協議の場づくりのための勉強会の中で・・・
平地なのに公共交通機関までが遠いという地域特性の共有
「実際に必要としている人がどれくらいいるか調査しないと！」

⇒調査項目の作成・調査・分析も住民の手で行う。

・車両を得るための補助情報の提供・書類作成補助

新しい居場所の形 公民館開放

・第2層協議の場の中で・・・

「介護予防のサロンなどお世話方がいるやり方では限界がある。みんなが気軽に集まる出入り自由な居場所が必要ではないか！」「うちの区で一度やってみようかな！」

⇒やってみての報告をしていただくと・・・他の区にも派生した。



地域でのラジオ体操が一般介護予防事業の補助対象に

・「なぜ週1回2時間じゃないとだめなのか」という住民の思い。毎日10分のラジオ体操＋片道10分の会場までのウォーキング。最高齢は93歳！毎日ちょっとでも外に出る機会があるほうが、介護予防になるのではないか！」その思いを直接住民と接し、市の担当課もしっかり受け止めた。





スクールバスを活用した地域での送迎支援 + α

・小学校の統廃合により子ども達がスクールバスで通学ようになった山間部の地域スクールバスの空き時間を利用して、高齢者の通院・買い物等の送迎支援を実施できないかとの申し出がある。

・市役所の保健課（介護保険部門）・学校教育課・市民協働推進課（自治協議会等の地域支援担当部門）にて協議を行い、燃料代や保険代の費用負担についても調整を行い、スクールバスの利用ができるようになり、週4日の送迎支援を実施。

・学校行事での使用も増えたことから、車両をリースしての実施を検討していたところ・・・。

・別の山間部の地域で「10人乗りワゴン車を保有しているが、維持費のみがかかっているため、別の地域で使うところがあるなら、レンタルしてもいい。」との話があり、お互いの条件等を調整し、ワゴン車を借用しての送迎支援を令和3年度より実施。

番外編：地域活動と公共交通のバランス

・地域での移動支援がいくつかの地域で始まるが、一方で、路線バス・コミュニティバス等の利用者が減少するという状況も・・・。
地域活動と公共交通のバランスをうまくとる必要があるため、公共交通の担当課とも、これまでの経過等を説明した上で、今後の進め方について協議し、協議の場や地域等の会議にも参加してもらい、説明なども行っていただく。



うきは市の移動支援について

各地区の課題解決を
市全体で考えるため
に・・・。

スクールバスを活用した
買い物・通院支援（妹川地区）
令和2年度利用者：261名



通所型サービスBへの送迎
（福富地区）



軽自動車による移動支援
（買い物・通院）江南地区
令和2年度移送件数：245件



地域で行う移動支援に関する 情報交換会の開催



地区外のボラン
ティア希望者と活
動のマッチングも
出来ました！



★参加される方が元気になったり、明るくなる様子を身近で見るとやりがいにもつながる

★利用予定の方がいないときには、関係機関に連絡するなど見守りにもつながっている

★外出することで、お化粧したり、おしゃれをしたりと、介護予防にもなっている

★目的

- ①市内全体の課題として考える場
- ②取り組みの中での共通課題は、「ボランティアの確保」住んでいる地区に関係なく、市内全体で、協力体制がとれるような仕組みをつくる
- ③同じ移動支援の取り組みをしている団体・地区同士やその他興味のある方等に周知をする

「地域の役を終えた後の活動できる場が欲しい！」 住民型有償サービス おおいし絆クラブ



- ・平成28年8月～9月にかけて勉強会を実施（参加者の約半分は区の役を終えた人もしくは区の役をしていない人）。その後検討を重ね、29年7月に発足。

- ・延べ活動状況（H29～R2）依頼者170名、活動件数207件
活動時間320時間、活動者数335名



- ・「可燃ごみをゴミ捨て場まで持って行ってほしい。」との依頼があったため、本人の了承を得た上で、**活動を通して近所の見守りや声かけにもつながることを期待して**、同じ区内の協力会員をマッチングし活動を行いました。また、活動の中から、「**同じようにゴミ出しに困っている人がいるのではないか**」という気づきから、**地域の役員さんと話をし、その区にゴミ集積場が2か所になった事例**もあっています。

- ・緊急事態宣言期間中のみ室内活動を中止するが、継続して活動を実施中。

「区内の空き家の草が伸びすぎて困っている」という相談から・・・。

住民型有償サービス 14区おたすけ隊

※公民館などの地域拠点がないため、隣組ごとに調整役を配置する。

※14区データ：168世帯 人口：433人 高齢率：29.8%



近所の空き家に雑草が生い茂っているところがあり、近所の方から相談があり、その際、つい「**自分たちで草刈りすれば・・・**」と口に出したのがキッカケで、区内の高齢者や障がい者のお宅、地域の中で協力者になってくれそうなお宅を訪問し、「**自分たちもすぐに体が動かなくなる。そうなったときにこういった活動が地域にあればみんな助かる。**」と**説明してまわり**、令和元年5月に活動をスタート。生活支援活動だけでなく、空き家の草刈りも行っています。

電球交換の依頼があった先で息子の相談を受け、「社協に相談せんね」の一言がきっかけで社協につながったという事例もあります。

延べ活動状況（R1～R2）

生活支援活動 依頼件数 43件 活動者 92名

空き家の環境整備（草刈り）※除草後の廃棄含む

令和元年度 1か所 6回 活動者 23名

令和2年度 3カ所 10回 活動者 29名



たくさんの方が、協議の場や勉強会にご参加いただいています！
参加しての、声もお寄せいただいています！！



うきは市で“支え合いの気持ち”が広がっています！

【勉強会や協議の場に参加された方々・第2層地域支え合い推進員からの声】

- ・まずは、「みんなの声を集めよう」というところからアンケートをとることとなった。これは、**今困っている人のためであることはもちろん、3年後、5年後、10年後とそう遠くない自分達のためや、もっと先の地域のためにもなるのでは！**
- ・福祉施設や病院の方等と一緒に参加していただいて、とても心強く、社会福祉法人からの「地域貢献をしたい！」という言葉もあり、**共存・共栄しながら、お互い助け合うことの大切さ**を感じている。
- ・これまでも色々な事で地域の課題は取り上げられてきた。最初は頭で考えれば分かる事で、話し合いをすることに煩わしさもあったが、「**回り道であっても議論を重ねることで基礎ができる。その基礎ができるまでの過程が実は大事で、基礎をつくって取り組み、体制作りをすると簡単には壊れない。**」今ではそう思うようになった。
- ・**本人が選択できるように選択肢を増やす**のが私たち地域支え合い推進員の活動だと思う。
- ・コロナの影響で地元若者が帰ってくることも増えるだろう。**高齢者を支えることももちろんだが、若者を地域で支えるということも同時に考えていかなければいけないと思う。**

いろんなサービスや活動も生まれてきたけれど…やはり**支え合いの気持ち**がうきは市に**少しずつ広がってきていることが、協議の場で生まれた一番のカタチだ**と思っています。